

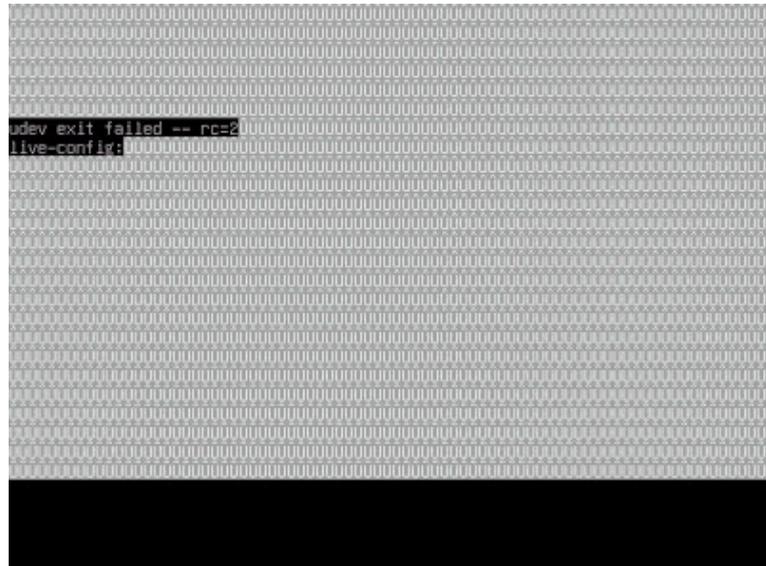
Clonezilla をブートCD から起動する

1. ブートメニューの通常は一番上の項目を選べば良いです。



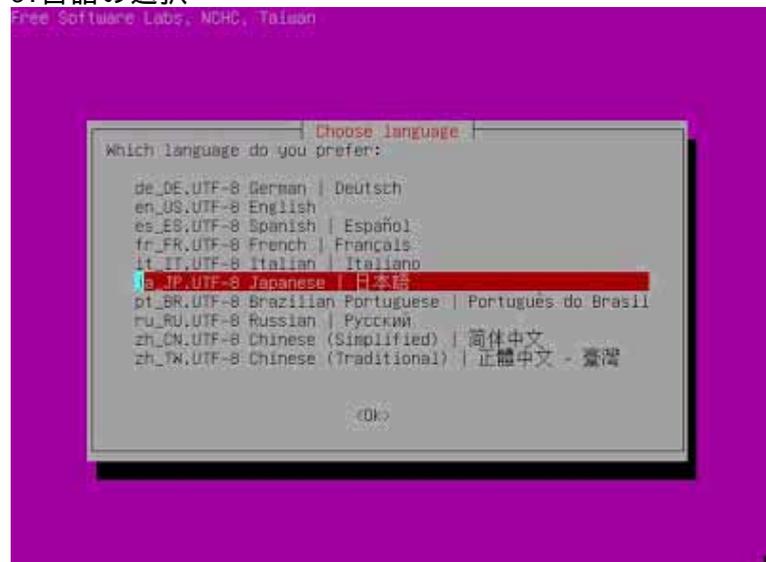
Clonezilla live
(Default settings, VGA 800x600)
デフォルト設定で Clonezilla を起動します。
画面解像度は 800 × 600 です。

2. Clonezilla の起動



このような画面が表示されます。
起動処理が行われているのでしばらく待ちます。

3. 言語の選択



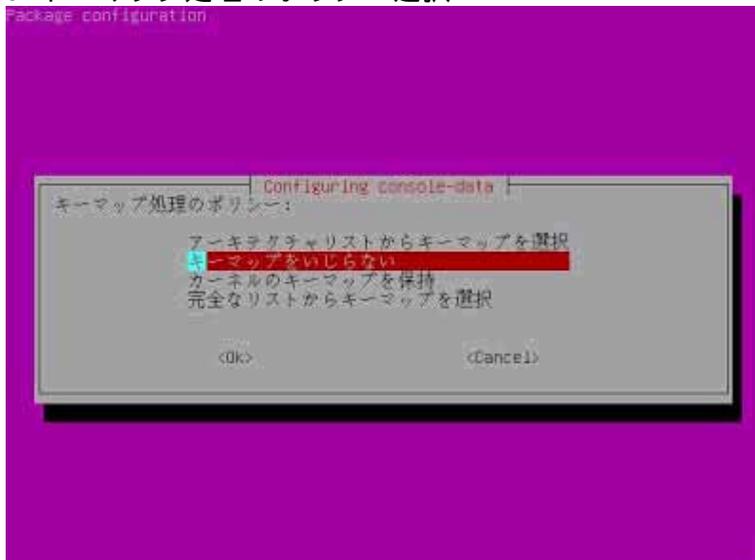
言語の選択画面が表示されます。
「ja_JP.UTF-8 Japanese | 日本語」を選択します。

4. キーマップの説明



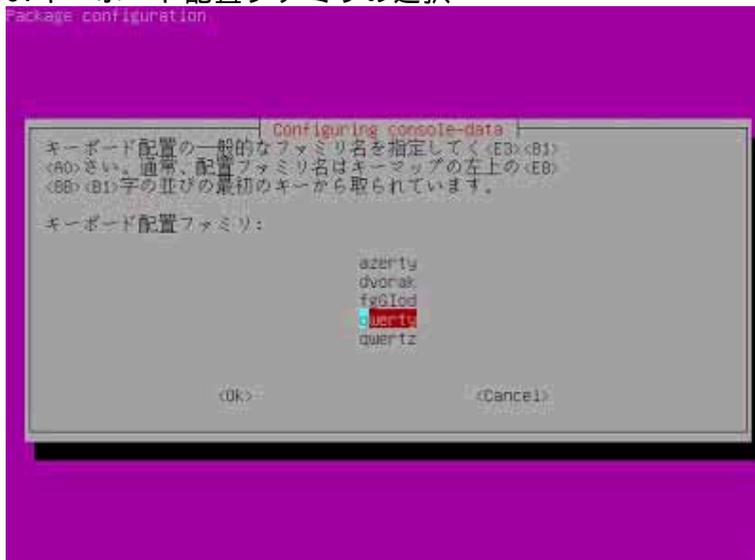
キーマップの説明が表示されますので「エンター」キーを押します。

5. キーマップ処理のポリシー選択



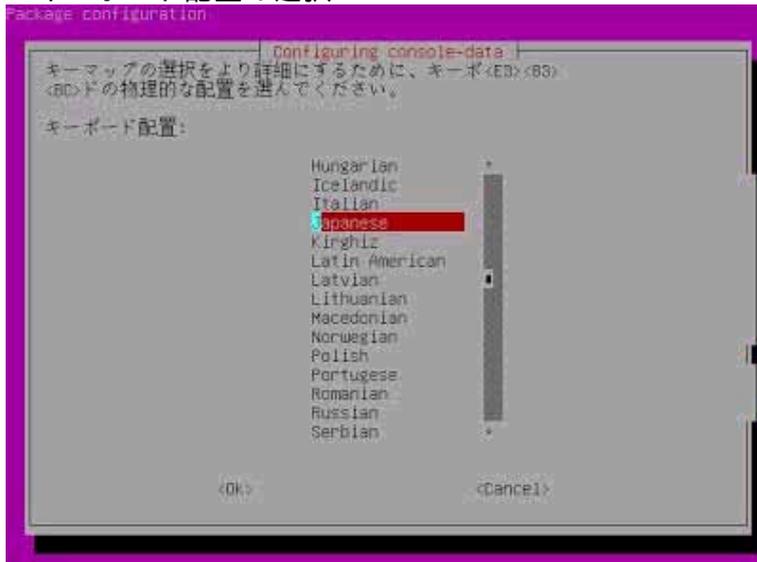
キーマップ処理のポリシー選択画面が表示されます。「アーキテクチャリストからキーマップを選択」を選択して「エンター」キーを押します。

6. キーボード配置ファミリの選択



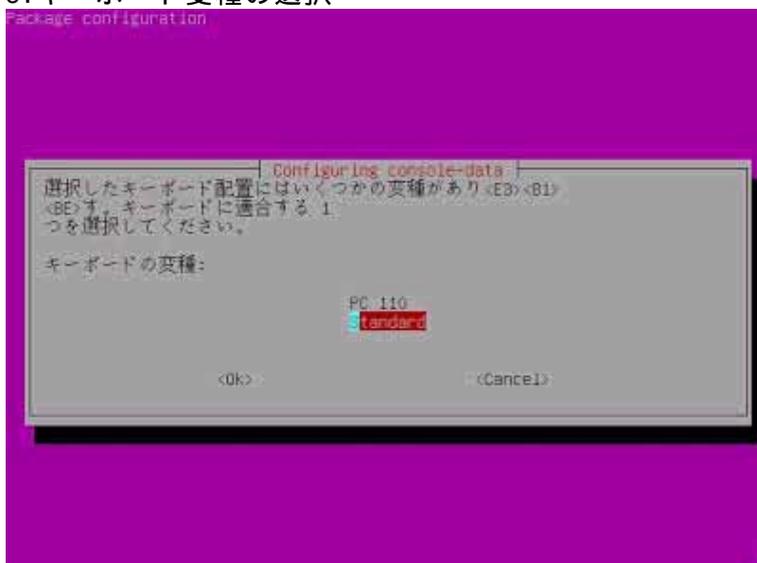
キーボード配置ファミリ選択画面が表示されます。「qwerty」を選択して「エンター」キーを押します。

7. キーボード配置の選択



キーボード配置選択画面が表示されます。「Japanese」を選択して「エンター」キーを押します。

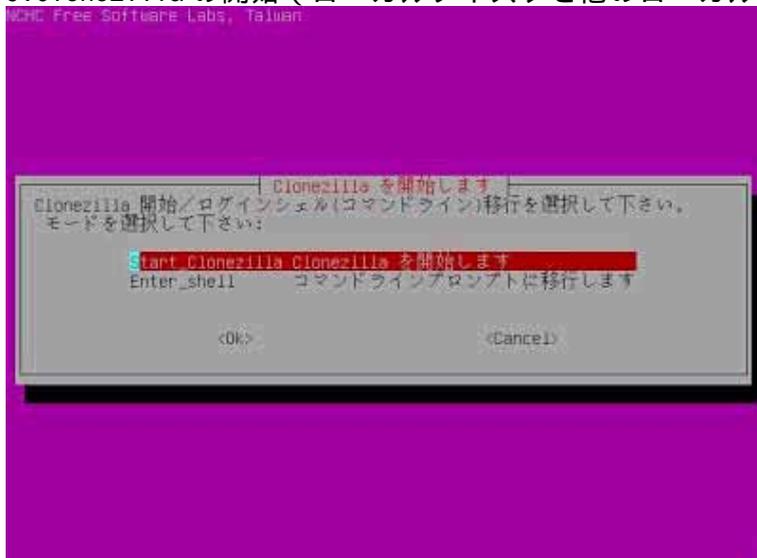
8. キーボード変種の選択



キーボード変種選択画面が表示されます。「Standard」を選択して「エンター」キーを押します。

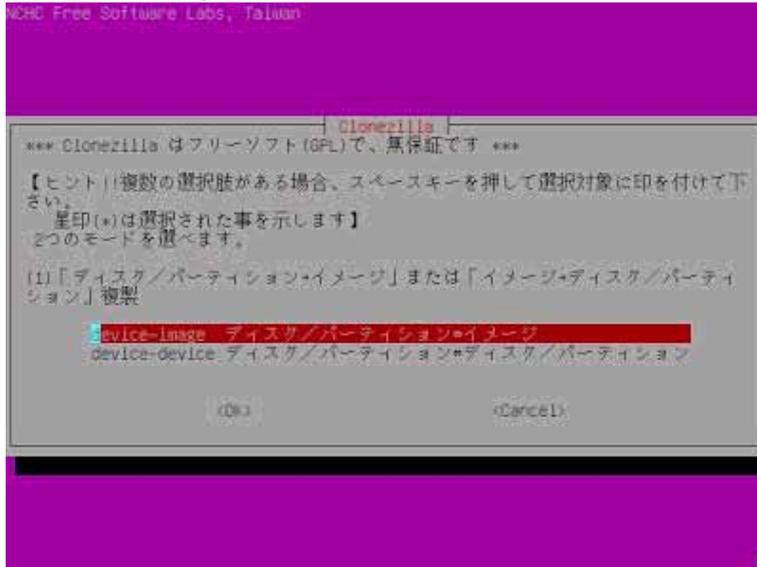
* コピー先のディスク容量がコピー元のディスク容量以上であるか確認しておきます *

9. Clonezillaの開始（ローカルディスクを他のローカルディスクに複製）



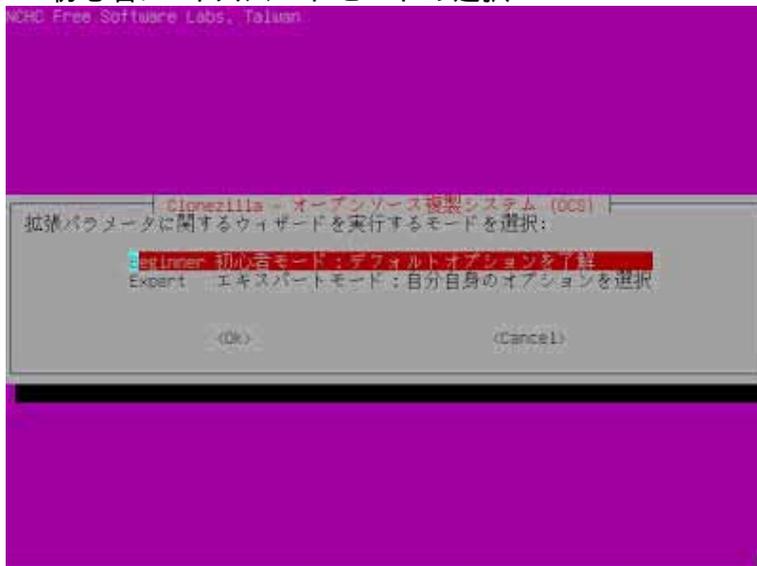
Clonezilla を起動しキーマップの設定が終わった後、以下の画面が表示されます。「Start_Clonezilla」を選択して「エンター」キーを押します。

10. モードの選択



モードを選択します。
「device-device」を選択して「エンター」キーを押します。

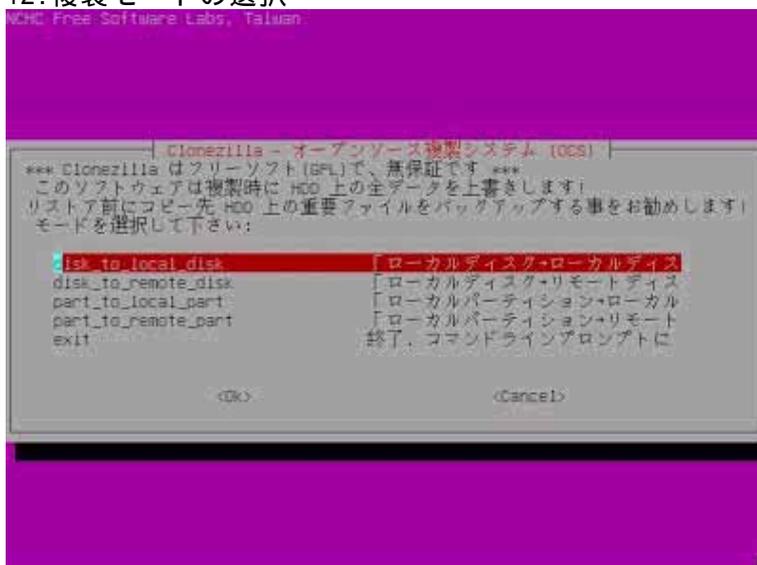
11. 初心者/エキスパートモードの選択



初心者モードとエキスパートモードが選択できます。
通常は初心者モードで問題ありません。

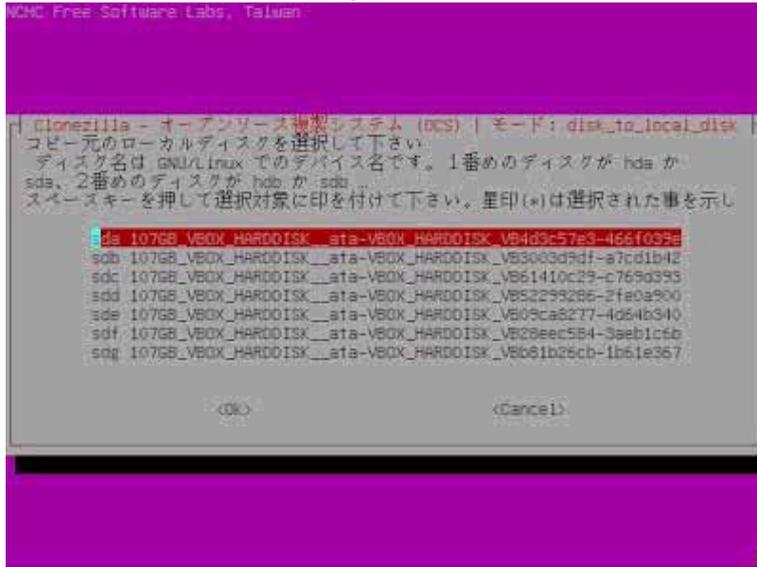
ここでは初心者モードを選択します。

12. 複製モードの選択



「disk_to_local_disk」を選択して「エンター」キーを押します。

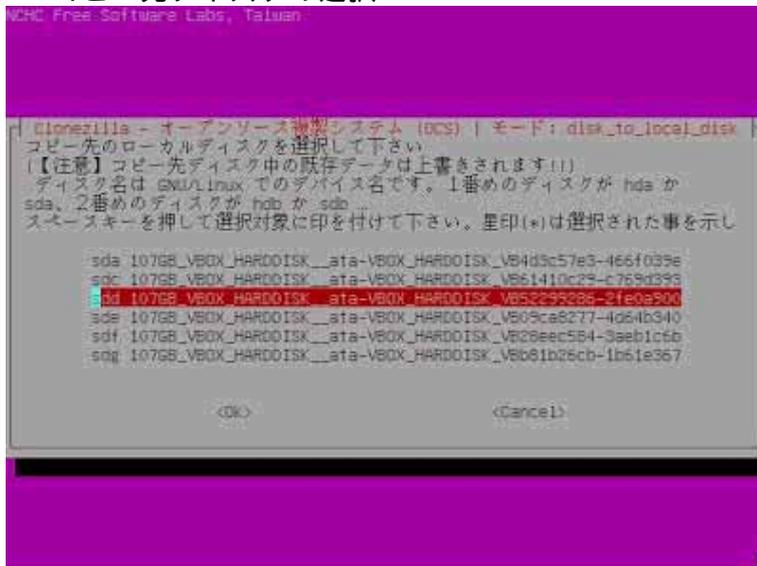
13. コピー元ディスクの選択



コピー元ディスクを選択して「エンター」キーを押します。

通常は、「s d a」が、コピー元です。

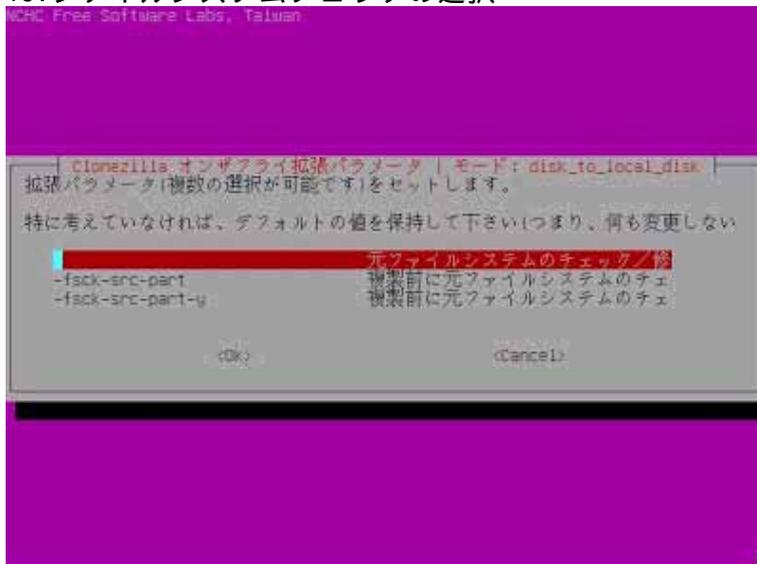
14. コピー先ディスクの選択



コピー先ディスクを選択して「エンター」キーを押します。

通常は、「s d b」が、コピー先です。

15. ファイルシステムチェックの選択



バックアップするディスクのチェックを事前に行うかどうかの選択です。

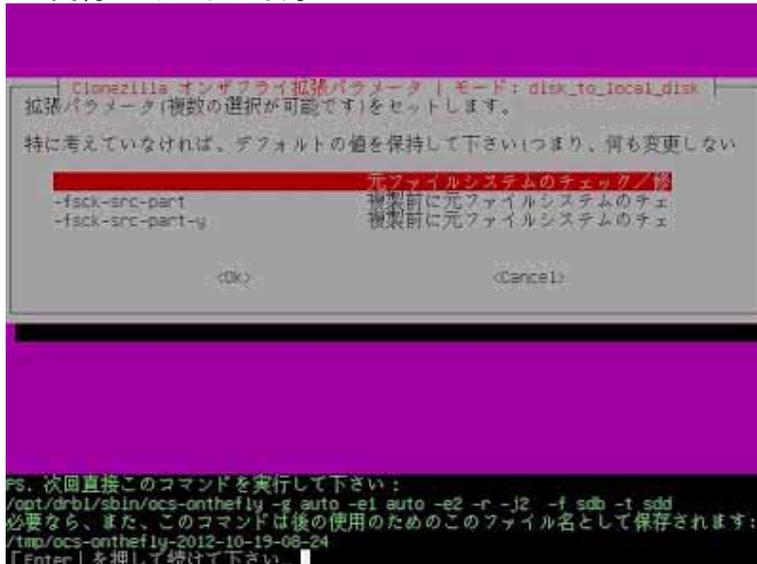
なし(空白)通常は、これを選択する。ファイルシステムのチェックを行いません。

-fsck-src-part
ファイルシステムのチェックを行います。問題があれば、修復するか確認が表示されます。

-fsck-src-part-y
ファイルシステムのチェックを行います。問題があれば、自動で修復されます。

選択したら「エンター」キーを押します。

16. 実行コマンドの表示



今までの設定を反映した実行コマンドが表示されます。

気にしないで良いので「エンター」キーを押します。

17. 実行確認



実行確認は 2 回行われます。黄色文字で処理の内容が表示されます。

いずれも問題がなければ「y」を入力して「エンター」キーを押します。通常は「y」を

中止する場合は「n」を入力して「エンター」キーを押します。

コピー先ディスクの情報が表示されます。

もう一度同じ確認が行われます。



「y」を入力して「エンター」キーを押します。

18.MBRのコピー確認

```
/dev/sdd3 0 - 0 0 Empty
/dev/sdd4 0 - 0 0 Empty
Warning: partition 1 does not end at a cylinder boundary
Warning: no primary partition is marked bootable (active)
This does not matter for LILU, but the DOS MBR will not boot this disk.
Successfully wrote the new partition table

Re-reading the partition table ...

If you created or changed a DOS partition, /dev/foo7, say, then use dd(1)
to zero the first 512 bytes: dd if=/dev/zero of=/dev/foo7 bs=512 count=1
(See fdisk(8).)
This is done by "sfdisk --force -C 13054 -H 255 -S 63 /dev/sdd < /tmp/ocs_onthefly_local.g3UVzP/tgt_pt.sf"
Informing the OS that partition table has changed...
Checking the integrity of partition table in the disk /dev/sdd...
done!
*****
The first partition of disk /dev/sdd starts at 2048.
Restoring the hidden data between MBR (1st sector, i.e. 512 bytes) and 1st parti-
tion, which might be useful for some recovery tool, by:
dd if=/tmp/ocs_onthefly_local.g3UVzP/tgt-hidden-data.img of=/dev/sdd seek=1 bs=5
12 count=2047
2047+0 records in
2047+0 records out
1048064 bytes (1.0 MB) copied, 0.0659556 s, 15.9 MB/s
*****
オートローダ(実行可能コードエリア、最初の 446 バイト)を複製しますか : : sdd ?
[Y/n]
```

必要に応じて MBR のコピー確認が行われます。

コピーするなら「y」を入力して「エンター」キーを押します。通常は「y」を選択

コピーしない場合は「n」を入力して「エンター」キーを押します。

19.パーティションテーブルの更新

```
This does not matter for LILU, but the DOS MBR will not boot this disk.
Successfully wrote the new partition table

Re-reading the partition table ...

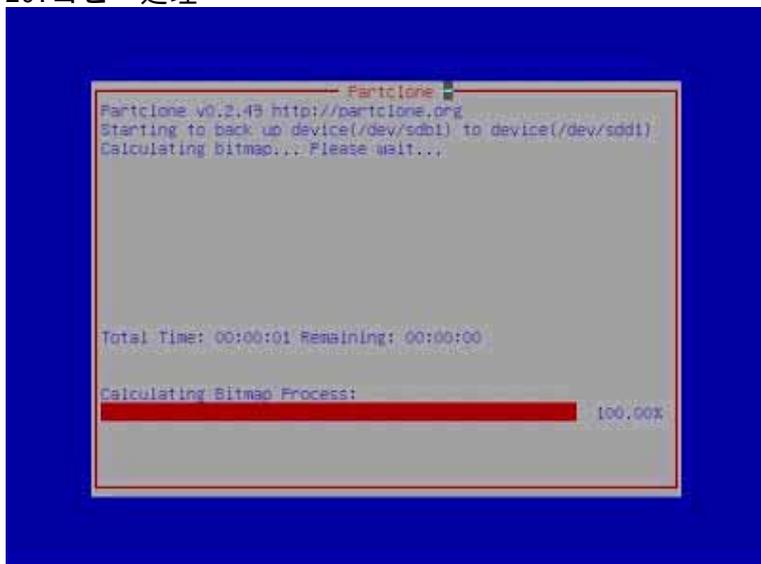
If you created or changed a DOS partition, /dev/foo7, say, then use dd(1)
to zero the first 512 bytes: dd if=/dev/zero of=/dev/foo7 bs=512 count=1
(See fdisk(8).)
This is done by "sfdisk --force -C 13054 -H 255 -S 63 /dev/sdd < /tmp/ocs_onthefly_local.g3UVzP/tgt_pt.sf"
Informing the OS that partition table has changed...
Checking the integrity of partition table in the disk /dev/sdd...
done!
*****
The first partition of disk /dev/sdd starts at 2048.
Restoring the hidden data between MBR (1st sector, i.e. 512 bytes) and 1st parti-
tion, which might be useful for some recovery tool, by:
dd if=/tmp/ocs_onthefly_local.g3UVzP/tgt-hidden-data.img of=/dev/sdd seek=1 bs=5
12 count=2047
2047+0 records in
2047+0 records out
1048064 bytes (1.0 MB) copied, 0.0659556 s, 15.9 MB/s
*****
オートローダ(実行可能コードエリア、最初の 446 バイト)を複製しますか : : sdd ?
[Y/n] y
Cloning the boot loader (executable code area) from "sdb" to "sdd"...
*****
コピー先マシンへのデータ複製を開始します...
本当に続けてもよろしいですか ? (y/n)
```

パーティションテーブルが更新され、パーティションの情報が表示されます

問題がなければ「y」を入力して「エンター」キーを押します。通常は、「y」を選択

中止する場合は「n」を入力して「エンター」キーを押します。

20.コピー処理



コピー処理が実行されます。

21. コピー完了

```
Trying the swap partition if exists...
Trying to remove udev hardware record in the restored OS...
The specific destination disk is: sdd
File descriptor 3 (/dev/tty0) leaked on pvs invocation. Parent PID 4225: /bin/bash
File descriptor 4 (/dev/fb0) leaked on pvs invocation. Parent PID 4225: /bin/bash
Trying to remove udev persistent files. Searching in devices: sdd1...
/dev/sdd1...
done!
Run grub install on disk sdd...
The grub directory is NOT found. Maybe it does not exist (so other boot manager exists) or the file system is not supported in the kernel. Skip running grub-install.
Try to run partclone.ntfsfixboot for NTFS boot partition if it exists. Scanning partition(s): sdd1...
The NTFS boot partition was not found or not among the restored partition(s). Skip running partclone.ntfsfixboot.
再度 Clonezilla を使用したい場合:
(1) このコンソール(console 1)のままで、コマンドラインプロンプトに入ります
(2) exit または logout コマンドを実行して下さい
起動は次回起動時の障害を引き起こすかも知れません!!、poweroff、rebootを使うか、
「Enter」を押して続けて下さい。
```

このような画面が表示されるので、「エンター」キーを押して終了します。

22. Clonezilla の終了

```
The jobs in /etc/ocs/ocs-live.d/ are finished. Start "ocs-live-general" now.
"ocs-live-general" is finished.
Now you can choose to:
(0) Poweroff
(1) Reboot
(2) Enter command line prompt
(3) Start over (Image repository /home/partimag, if mounted, will be unmounted)
(4) Start over (keep image repository /home/partimag mounted)
[2]
```

このような画面が表示されます。

どれを選んで良いかわからない場合は、(0)か(1)を選びましょう。数値を入力して、「エンター」キーを押します。

- (0) Poweroff 「通常は、これを選択して下さい」
PC をシャットダウンします。
- (1) Reboot
PC を再起動します。
- (2) Enter command line prompt
Bash を起動します。
Bash を終了するには「exit」コマンドを入力します。
- (3) Start over (image repository /home/partimag, if mounted, will be unmounted)
バックアップイメージ保存先のパーティションをアンマウントしてから、Clonezilla を起動します。
- (4) Start over (Keep image repository /home/partimag mounted)
バックアップイメージ保存先のパーティションをマウントしたまま、Clonezilla を起動します。